一般社団法人人文地理学会

2021 年　定時社員総会　【資料】

日　時：2021 年 11 月 20 日（土）　16 時 15 分～17 時 30 分
会　場：インターネットによるオンライン（Zoom ミーティング）開催
（関西学院大学 西宮上ケ原キャンパス F 号館 F-305 教室）

開会宣言
定足数確認
議長選任
議事録署名人選出

議　事：

＜報告事項＞

１．2020/21 年度　事業報告　・・・・・・・・　1～11 ページ
２．2021/22 年度　事業計画　・・・・・・・・　12～14 ページ
３．2021/22 年度　収支予算　・・・・・・・・　15 ページ
４．その他

＜審議事項＞

１．人文地理学会会則改正　・・・・・・・・　16～17 ページ
２．2020/21 年度　決算　・・・・・・・・・・　18～25 ページ
３．その他

閉会宣言
議長解任

＊定時社員総会は会員総会を兼ねています。定時社員総会終了後、
第 21 回人文地理学会学会賞受賞者の表彰式が行われます。

2020/21 年度事業報告

1．庶務委員会　（古賀慎二常任理事）

① 会員の動向　（2021 年 9 月 30 日現在）

年　度	2015	2016	2017	2018/19	2019/20	2020/21
会　員	1,245 146	1,220 144	1,221 144	1,165 140	1,164 137	1,122 （国内 1,116，海外 6） 他に団体会員 137
（学生）	（135）	（164）	（140）	（130）	（125）	（116）
入　会	42	36	33	32	31	28
（学生）	（31）	（21）	（22）	（20）	（20）	（14）
退　会	43	22	33	40	37	24
（学生）			（7）	（4）	（8）	（4）
資格喪失	15	－	54	－	39	－

＊資格喪失は隔年（名簿発行年）

② 交換・寄贈雑誌　（2021 年 9 月 30 日現在）

国内交換雑誌　44 誌　　海外交換雑誌　9 誌

③ 2020/21 年度常任理事会・社員総会・理事会の開催

常任理事会（定例 6 回，臨時 1 回）

社員総会（1 回）

理事会［7 回：10 月 17 日（オンライン），11 月 14 日（オンライン），
12 月 19 日（オンライン），4 月 10 日（オンライン）
5 月 24～6 月 1 日（臨時，書面），7 月 10 日（オンライン），
9 月 25 日（オンライン）］

2．会計委員会　（加藤政洋常任理事）

① 会費納入状況　（2021 年 9 月 30 日現在）

会員数(個人)　　1,122 名(内 海外会員 6 名)

○（国内）会員　1,116 名

第 73 巻まで完納: 950 名(永年会員 58 名含む 納入率 85%)

第 72 巻まで納入（1 年未納）: 122 名(内，住所不明 5)

第 71 巻まで納入（2 年未納）: 30 名(内，住所不明 5)

第 70 巻まで納入（3 年未納）: 14 名(内，住所不明 5)

○海外会員　6 名

(内，1 名は永年会員，3 名は第 73 巻まで完納)

○永年会員　58 名

(2020/2021 年度中の移行者 3 名)

② **研究部会**会計報告（2021 年 9 月 30 日現在，単位：円）

研究部会	予 算	支 出	残 高
歴史地理	80,000	51,578	28,422
地理思想	80,000	31,980	48,020
都市圏	80,000	20,000	60,000
地理教育	80,000	63,140	16,860

③ **国際地理オリンピックへの寄付**

10 万円を寄付した。

３．編集委員会　（上杉和央常任理事）

① **定期刊行の実現**

会誌『人文地理』は，第 72 巻第 3 号より第 73 巻 2 号まで，定期刊行を実現した。

② **会誌編集状況**

別紙参照

４．集会委員会　（香川雄一常任理事）

① **大会**

1）2020 年人文地理学会大会

オンライン開催　2020 年 11 月 14 日（土）～23 日（月・祝）

11 月 14 日（土）：午後 特別研究発表 4 件（最大視聴数 100 名，録画平均視聴数 197 回）
定時社員総会，オンライン懇親会（延べ参加者数 168 名）

14 日（土）～23 日（月・祝）：一般研究発表 36 件（PDF7 件，動画 29 件），
平均視聴数 127 回

2）2021 年人文地理学会大会

・オンライン開催（11 月 20 日（土）～21 日（日））

・学会ウェブサイトから登録するメーリングリストに登録後，配信される情報にしたがって参加登録（一般研究発表者以外は参加費無料）。

・当初，関西学院大学で開催予定であったが COVID-19 の蔓延により，関西学院大学を本部としたオンライン開催に変更した。大会準備委員会（会場校スタッフ，常任理事および集会委員をはじめとした各委員会委員）によって開催することとなった。特別研究発表，一般研究発表（公募セッションを含む），定時社員総会，会員総会を開催し，ポスター発表，部会アワー，エクスカーション，懇親会は実施しない。

・『2021 年人文地理学会大会研究発表要旨』は PDF 配信のみで冊子体は作成しない。そのため，図表はカラーを認めた。PDF の末尾に掲載料を徴収して出版社広告を掲載。

11 月 20 日（土）：午後 特別研究発表 4 件，定時社員総会（会員総会）
＊特別研究発表と定時社員総会（会員総会）はオンタイム型オンライン開催。

特別研究発表の質疑応答はオンタイム開催の時間内に実施。
定時社員総会の採決には事前に告知する Google Forms を利用。
11 月 21 日（日） 一般研究発表 29 件はオンタイム型オンライン開催。質疑応答はオンタイム開催の時間内に実施。

② 例会

1）第 293 回例会（特別例会） COVID-19 拡大の状況に鑑み，幹事校の長崎大学を軸としてオンラインで実施。

テーマ「長崎の地域多様性を考える」，講演 5 件，参加 126 名（オンライン接続者）。

③ 研究部会

＊本年度は 4 つの研究部会での活動となったが，昨年は COVID-19 拡大の影響を受け，研究部会活動は大きな制約を強いられたが，オンライン化への対応により開催回数が回復しつつある。次年度からは観光空間研究部会が新たに設立される予定である。

1）歴史地理研究部会

第 158 回 2021 年 7 月 18 日 佛教大学宗教文化ミュージアム（＋オンライン），報告 3 件，参加者 79（＋25）名

2）地理思想研究部会

第 136 回 2021 年 2 月 5 日 オンライン，報告 1 件，参加者 51 名
（2020 年 5 月 31 日 延期分）

第 138 回 2020 年 11 月 28 日 オンライン，報告 1 件，参加者 22 名

第 139 回 2021 年 9 月 4 日 オンライン，報告 2 件，参加者 58 名

3）都市圏研究部会

第 67 回 2021 年 7 月 17 日 オンライン，報告 4 件，参加者 31 名

4）地理教育研究部会

第 49 回 2021 年 3 月 20，30 日 オンライン＋兵庫県高砂市，報告 3 件＋巡検，参加者 23＋10 名（2020 年 4 月 18 日 延期分）

第 51 回 2021 年 8 月 2 日 オンライン開催，報告 3 件，参加者 151 名

④ 2022 年の大会と例会（特別例会）の予定

1）2022 年大会

佛教大学紫野キャンパスにおいて 11 月 19 日（土）・20 日（日）に開催予定。

2）第 294 回例会（特別例会）

信州大学に開催幹事校を務めていただき 2022 年 6 月下旬に松本市で開催予定。

＊COVID-19 の状況を注視しつつ，エクスカーションと懇親会の実施可否について慎重に検討していく。

５．企画委員会 （藤田裕嗣常任理事）

① 第 21 回人文地理学会 学会賞

・学会賞候補者選考委員会委員を以下の通り委嘱した（2020 年 12 月）。※印は委員長

〔学術図書部門，学術図書部門奨励賞〕

吉田　剛（宮城教育大学，留任）※　山村亜希（京都大学，留任）
後藤拓也（広島大学，新任），　久木元美琴（専修大学，新任）

〔一般図書部門〕

寺谷亮司（愛媛大学，留任）※　門井直哉（福井大学，留任）
若林芳樹（東京都立大学，新任），　山元貴継（中部大学，新任）

〔論文部門〕

横山　智（名古屋大学，新任）※　網島　聖（佛教大学，新任）
立見淳哉（大阪市立大学，新任），　鳴海邦匡（甲南大学，新任）

・学会賞候補者選考委員会は，新型コロナウィルス感染拡大のため，オンラインで会議を実施した。各委員会では，9 月中旬の答申までの委員会の進め方について意見交換がなされた。

・学会賞候補者選考委員会からの答申（2021 年 9 月）
各部門の候補者選考委員会から受賞候補者について答申があった。受賞候補者および候補図書・論文は以下の通りである。なお，本答申については，2021 年 9 月 25 日の第 4 回理事会で承認された。

[学術図書部門]

受賞候補者：田和正孝
受賞対象図書：『石干見の文化誌―遺産化する伝統漁法―』昭和堂，2019 年，262 頁。

[学術図書部門奨励賞]

受賞候補者：市川康夫
受賞対象図書：『多機能化する農村のジレンマ―ポスト生産主義後にみるフランス山村変容の地理学―』勁草書房，2020 年，280 頁。

[一般図書部門]

受賞候補者：上杉和央
受賞対象図書：『歴史は景観から読み解ける―はじめての歴史地理学―』ベレ出版，2020 年，213 頁。

[論文部門]

受賞候補者：松宮邑子
受賞候補論文：「ウランバートル・ゲル地区における居住者の就労と生活戦略」『人文地理』第 72 巻 2 号，2020 年，107-129 頁。

② 地理学連携機構関連

・2021年 3月27日に第12回 地理学連携機構・地理関連学会連合・人文･経済地理関連学会協議会の合同総会が行われ，役員，事務局の変更が行われた。機構の代表は松原宏，副代表は春山成子，幹事は山本佳世子・藤田裕嗣，連合の議長は春山成子，副議長は山本

佳世子, 協議会の議長は矢野桂司，副議長は藤田裕嗣とすることが了承された。なお，2021年度からの3年間, 機構の事務局は日本地理学会が担当する。

③ 若手研究者国際会議派遣助成

・若手研究者国際会議派遣助成選考委員会委員を以下の通り委嘱した（2020 年 12 月)。※印は委員長

吉田容子（奈良女子大学，留任 1 年目）※
金　科哲　KIM Doo-Chul（岡山大学・新規），小田宏信（成蹊大学・新規）

・一昨年度に選考委員会による答申が審議・承認された。助成対象者と発表題目は以下のとおりである。

栗林梓, Student geographies and transformations of urban spaces in Japan: Focusing on demand and supply of apartments for students

なお，当該の IGC イスタンブール大会は 1 年間延期を決定したので，候補者から参加の意思を確認し，1 年遅れになったが，2021 年 8 月にオンラインで開催され，報告も受けた。

・助成対象を従来の IGU 関連の研究集会に加えて ICHG（国際歴史地理学会）関連集会を追加・拡大した上で，2 月に応募はなく， 2021/22 年度について学会ウェブサイトにて公募した。

６．広報委員会 （藤田裕嗣常任理事）

① 学会ウェブサイトの運営

・学会の大会・例会・研究部会などの活動や，他学会などからの公募やセミナーなどの情報を，学会ウェブサイトを通して社会に公開した。また，学会メーリングを用いて会員への情報提供を行った。

② 広報活動

・新型コロナ禍に対応するため，オンラインで参加する方法が初めて採用された2020年大会での様子などを学会ウェブサイトに掲載するなど，学会活動に関する情報を会員および社会に周知することに努めた。

【編集　資料０５】

2021 年 11 月 20 日

人文地理学会 2020/21 年度 定時社員総会（会員総会）編集委員会 補足資料

１）2020/21 年度編集会議の実施状況

・Zoom によるオンライン会議を定例化
第 1 回会議（1/10），第 2 回会議（3/13），第 3 回会議（5/15），第 4 回会議（学界展望合評会，6/12），第 5 回会議（7/10），第 6 回会議（9/11），第 7 回会議（11/13）
※オンライン化に伴い，編集委員は全国の会員に依頼することが可能となった。

２）新投稿規程等の運用

・2020 年 12 月 19 日改訂の新投稿規程（73-1 掲載）に準じて，投稿が原則として PDF による電子投稿となった。印刷紙による郵送投稿にも事務局にて対応している。
・2020 年 12 月 19 日補訂の新執筆要領（73-1 掲載）に準じて，文献表へのアルファベット併記が開始された。
※運用する中で執筆要領の修正が望ましいと判断されたため，執筆要領の部分改訂を準備中。

３）『人文地理学会大会研究発表要旨』の編集

・2020年に導入された閲読制を引きつぎ，大会研究発表要旨の受付後入稿までの間に，集会委員と編集委員で分担して，主に形式上のチェックをおこなった。
・2021年もオンライン開催となったため，PDFのみで学会ウェブサイトに全文公開の予定。カラー図表の掲載も可とした。

４）著作権規程の見直し

・人文地理学会著作権規程（2007年12月22日制定）について，本学会が著作権を有する論文等の著作物についての著作者のウェブ公開にかかる条文の曖昧な点を修正し、明確にする改訂作業をおこなった。2021年4月12日理事会で承認された。

５）「J-STAGE 投稿審査システム」への応募

・2019 年度に初めて応募したが不採択。
・2020 年 12 月 22 日に応募したが，2021 年 2 月 5 日に不採択の通知。今後も公募され次第，Clarivate Analytics 社の ScholarOne Manuscripts（S1M）タイプを希望する形で応募する。

６）国際化の対応

・Elsevier 社（Scopus）と Clarivate Analytics 社（ESCI）との継続的な窓口役（コレスポンデント）が不可欠となっている。これまでの経緯もふまえ，島津俊之会員に依頼した。

2020/21年度編集委員会事業報告（別紙）

【編集　資料０６】

『人文地理』編集状況

	11/7	1/9	3/13	5/15	7/10	9/12	合計	2020/21	2019/20	2018/19	2017	2016	2015
論説 新規	4	0	2	1	0	1	8	22	23	31	18	23	26
論説 再投稿	3	3	1	3	3	1	14						
展望 新規	0	0	1	0	0	0	1	2	5	1	0	1	8
展望 再投稿	0	0	0	1	0	0	1						
研究ノート 新規	2	0	0	0	0	2	4	19	22	14	14	28	20
研究ノート 再投稿	2	3	5	2	2	1	15						
フォーカス 新規	0	1	1	0	0	0	2	3	7	3	1	6	4
フォーカス 再投稿	0	0	1	0	0	0	1						
合計	11	7	11	7	5	5	46	46	57	49	33	58	58
論説 受理	1	2	1	0	1	1	6	6	4	5	4	5	6
論説 要再投稿	3	1	1	4	2	0	11	11	15	23	9	11	12
論説 返却	3	0	1	0	0	1	5	5	4	3	5	7	8
展望 受理	0	0	0	1	0	0	1	1	1	0	0	1	2
展望 要再投稿	0	0	1	0	0	0	1	1	3	0	0	0	4
展望 返却	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2
研究ノート 受理	0	1	1	0	1	0	3	3	5	2	5	6	6
研究ノート 要再投稿	4	2	4	2	1	2	15	15	15	7	5	18	10
研究ノート 返却	0	0	0	0	0	1	1	1	2	5	4	4	4
フォーカス 受理	0	0	1	0	0	0	1	1	2	1	0	2	2
フォーカス 要再投稿	0	1	0	0	0	0	1	1	5	1	0	3	2
フォーカス 返却	0	0	1	0	0	0	1	1	0	1	1	1	0
合計	11	7	11	7	5	5	46	46	57	49	33	58	58

・原稿種別変更における再投稿の場合，当初種別では「返却」，再投稿時の種別では「新規」として計上した。
・副査は概ね編集委員外の会員に依頼した。
・2020/21年度の年間投稿数は46本で，おおよそ平年並みである。ただし直近の7月・9月会議への投稿数の少なさは気にかかる。今後の推移を注視したい。

『人文地理』論文受理・返却率

	2020/21	2019/20	2018/19	2017	2016	2015		2020/21	2019/20	2018/19	2017	2016	2015
論説受理率	27.3%	17.4%	16.1%	22.2%	21.7%	23.1%	論説返却率	22.7%	17.4%	9.7%	27.8%	30.4%	30.8%
展望受理率	50.0%	20.0%	0.0%	―	100.0%	25.0%	展望返却率	0.0%	20.0%	100.0%	―	0.0%	25.0%
研究ノート受理率	15.8%	22.7%	14.3%	35.7%	21.4%	30.0%	研究ノート返却率	5.3%	9.1%	35.7%	28.6%	14.3%	20.0%
フォーカス受理率	33.3%	28.6%	33.3%	0.0%	33.3%	50.0%	フォーカス返却率	33.3%	0.0%	33.3%	100.0%	16.7%	0.0%
全体受理率	23.9%	21.1%	16.3%	27.3%	24.1%	27.6%	全体返却率	15.2%	12.3%	20.4%	30.3%	20.7%	24.1%

・2020/21年度の投稿数は前年度より11本減少したが、全体受理率は上昇した。一方で全体返却率もわずかに上昇したが，一昨年度以前と比べると返却率も小さい。

『人文地理』各号発行状況

	総頁数	論説	展望	研究ノート	フォーカス	書評	その他
72巻3号	146	0	88	20	17	12	9
72巻4号	111	24	22	41	0	6	18
73巻1号	136	50	0	21	0	6	59
73巻2号	108	22	0	22	21	30	13
2020/21年度合計	501	96	110	104	38	54	99
2019/20年度合計	450	134	69	35	32	38	139
2018/19年度合計	460	110	67	67	0	82	134
2017年度合計	563	115	69	155	32	36	156
2016年度合計	534	188	96	54	16	38	142
2015年度合計	454	90	22	90	28	24	200

・2020/21年度の総頁数は前年度より50頁増加。過去5年（2015-19/20年度）の平均総頁数(492.2頁)をわずかに上回った。
・2020/21年度は論説が比較的少なく、研究ノートが多かった。展望の増加は学界展望のページ数増加に起因する。

2021 年 9 月 25 日

一般社団法人　人文地理学会長　　野間　晴雄　殿

第 21 回　人文地理学会賞（学術図書部門）候補者選考委員会
委員長　吉田　剛
委員　久木元美琴，後藤拓也，山村亜希

記

受賞候補者：田和正孝
受賞対象図書：『石干見の文化誌―遺産化する伝統漁法―』昭和堂，2019 年，262 頁。
選考理由：

本書は，石干見と称される伝統漁法に着目し，その構造や利用形態，地域文化との関係，さらに今後の保全と活用を，丹念な資料収集や現地調査から論じた研究書である。

全体は３部から構成されており，第Ⅰ部では日本の石干見をめぐる研究が展開されている。第１章では，日本における石干見研究が，地理学のみならず，人類学や民俗学といった隣接分野まで目配りしながらレビューされる。それを踏まえて第２章では，石干見研究に取り組む上での論点が提示され，それらが以下の各章で論じられる。第３章では，日本における石干見の呼称に関する考察がなされ，きわめて多様な地方名がみられる石干見の呼称を，空間的に把握する難しさと意義が述べられる。第４章では，石干見が多く存在していた長崎県島原半島を事例に，石干見をめぐる漁業活動について多角的な分析がなされている。第５章では，石干見の形状とその地域性について検討が行われる。ここでは，漁業者が石干見の形状を決定する上で，漁獲対象物や漁場立地条件の違いといった要素が重要であることが明らかにされている。

第Ⅱ部では，台湾の石干見をめぐる諸相が記述されている。第６章では，台湾での石干見に関する研究が丹念にレビューされる。台湾では，日本統治時代の漁業調査による資料が多く残されるなど，石干見研究の基礎資料の蓄積に日本人が大きく関わっていたことが示される。続く第７章では，1910 年代の台湾本島における石干見の所有形態について，台湾総督府の行政資料を用いた考察が行われる。そして第８章では，同じく 1910 年代に台湾の澎湖列島で石干見がどのように漁業活動に利用されていたのかが示される。ここでは，前章と同じ行政資料を駆使して，集落単位で石干見の利用実態が詳細に分析され，当時の漁業実態が浮き彫りにされている。

最後に第Ⅲ部では，今後の石干見研究を進めていく上での可能性が示される。第９章では，大西洋沿岸地域における石干見研究がレビューされ，南アフリカ共和国・イギリス・フランスの各国において近年，石干見が考古学研究の対象としても注目されつつある実態が示される。そして第 10 章では，長崎県島原半島を事例に，石干見の地域文化誌を構築する試みと，石干見を活用した地域振興についての考察が行われる。前者では，民俗資料・行政資料・聞き取り調査の組み合わせによって石干見の漁業活動を復元できる可能性が示され，後者では石干見を活用した地域活動が自然保護や環境教育の場として機能していることが述べられている。

このように本書では，筆者の約 30 年に及ぶ調査をもとに，石干見を通じた人間と環境との関係が多面的に考察されている。消失しつつある文化的現象を地理学的視点から捉える方法が示されたという意味でも，多くの研究者の手本となり得る重要な成果といえる。

以上，本書は人文地理学会賞（学術図書部門）の授与にふさわしい優れた著作であり，著者をその候補者として推薦する。

2021 年 9 月 25 日

一般社団法人　人文地理学会長　　野間　晴雄　殿

第 21 回人文地理学会賞（学術図書奨励賞）候補者選考委員会
委員長　吉田剛
委員　久木元美琴，後藤拓也，山村亜希

記

受賞候補者：市川康夫
受賞対象図書：『多機能化する農村のジレンマ―ポスト生産主義後にみるフランス山村変容の地理学―』勁草書房，2020 年，280 頁。
選考理由：

本書は，フランスの山村地域を事例に，ポスト生産主義後に登場した「多機能論」の視点から農村問題を幅広く論じようとした研究書である。

本書の具体的な構成と内容は以下の通りである。本書は，理論編の第Ⅰ部（第１章・第２章），農業編の第Ⅱ部（第３章～第５章），農村編の第Ⅲ部（第６章～第８章）と終章からなる。第Ⅰ部では，現代農村を分析する新たな視点である多機能論の概念と方法，その登場の背景が論じられたうえで，本書の視点が示される。第二部「フランス農業の変容」では，フランス中央高地のオーベルニュ地域を対象とし，多機能レジームの影響を強く受けてきた地域の農業経営の戦略とその変容が扱われている。そこでは，多機能論の発端ともなってきた農業政策について整理したうえで，条件不利な環境下での農家の経営戦略とそれらを規定する基盤が明らかにされ，政策と農業経営との関係からフランス農業の変容が示される。.

第三部「フランス農村の変容」では，農村における新たな機能について，地域ブランド，ツーリズム，田園回帰の三点に注目し，それぞれフランス中央高地のブランド牛肉，セヴェンヌ地域の「歩くツーリズム」としての「ランドネ」，ジュラ農村における移住者の事例を通じて検討されている。最後の終章では，理論編と実証編で得られた知見から，都市・農村関係にみるフランス農村の多機能化やフランス山地農村の構造変化，多機能レジームの空間スケールが考察されるとともに，フランスや先進国の農業・農村について，グローバル化や都市への人口集中，補助金政策との関係から考察と展望が展開されている。

これまで日本においては，フランスの山村地域を対象とした実証研究は必ずしも多くはなく，しかも緻密な現地調査にもとづく手堅い論考であり，日本の人文地理学において海外事例の情報や知見を提供する好著であると判断できる。同時に，事象の記述や実態把握のみにとどまらず，農村の多機能論や田園都市化，ネオリベラリズムやポスト生産主義など先進国の農業・農村の現在を理解するうえで重要な構造的背景を踏まえつつ，現代フランス山村における農業の多機能化するあり方を政策や都市との関係等において論じており，日本をはじめとした他の先進国の農業・農村を考えるうえでも有益な枠組みを提示している。

以上，本書は人文地理学会賞（学術図書部門奨励賞）の授与にふさわしい優れた著作であり，著者をその候補者として推薦する。

2021 年 9 月 25 日

一般社団法人　人文地理学会長　　野間　晴雄　殿

第 21 回人文地理学会賞（一般図書部門）候補者選考委員会
委員長　寺谷　亮司
委員　門井　直哉，山元　貴継，若林　芳樹

記

受賞候補者：上杉和央
受賞対象図書：『歴史は景観から読み解ける―はじめての歴史地理学―』ベレ出版，2020 年，213 頁。

選考理由：

本書は，地図やフィールドワークを通して，景観の成り立ちと変遷を明らかにする歴史地理学研究の醍醐味を伝える魅力的な入門書である。

本書は，高松市の都心交差点写真に見える歴史の読み解きを導入とし（１章），生野鉱山や石見銀山から鉱石を運んだ道の踏査（２・３章），天橋立の集落と観光地化の歴史地理（４・７章），愛媛県松野町奥内地区の棚田を中心とした文化的景観（６章），姉川上流・東草野の歴史と個性（８章）などを事例として，景観から地域の自然，歴史，人々の営みとその変化を読み解く手法を，丁寧にわかりやすく解説している。

活用される資料は，地形図，絵図，地籍図，鳥瞰図などの地図類，新旧の現地写真，文献史料と多岐にわたっている。とくに，地図や写真は美しいカラー図版で示され，本書の説得性や価値を高めるとともに，親しみやすさを生む効果をあげている。本書は，地域の景観を復原する様々な手法を示し，それらを比較・検討することによって，地域景観の変化プロセスを明らかにする歴史地理学的視点を，見事に浮かび上がらせている。現地フィールドワークでの注意点や調査用具の解説もなされ，初学者にはとても参考になるだろう。

随所に挟み込まれたコラムでは，景観概念の成立過程，日本の風景の特色とその背景，風景感の変遷，サウンドスケープなど，一見すると難解な話題が平易に解説されている。本書で採用された事例地域の天橋立は，2021 年大学入学共通テスト「地理 B」やブラタモリでもとりあげられ，試験や番組をさらに深く理解することにも役立つタイムリーな出版であったといえる。すなわち，「まち探検」などによって身近な景観に対して関心を持つことは，実は歴史地理学的視点なのであり，本書によって広い読者が「地理学」的な視点を知り，実践することが期待される。

このように，本書は，地理学以外の専門分野や一般の読者に対して，地理学の手法や意義を PR する内容をもつ優れた著作であると判断され，本書を人文地理学会学会賞（一般図書部門）の授与にふさわしい著作として強く推薦する次第である。

2021 年 9 月 25 日

一般社団法人　人文地理学会長　　野間　晴雄　殿

第 21 回　人文地理学会賞（論文部門）候補者選考委員会
委員長　横山　智
委員　　網島　聖，立見淳哉，鳴海邦匡

記

受賞候補者：松宮邑子
受賞対象論文：「ウランバートル・ゲル地区における居住者の就労と生活戦略」『人文地理』第 72 巻 2 号，2020 年，107-129 頁。
選考理由：

本論文は，既存のスラム・スクウォッター研究の枠組みから行われたウランバートル・ゲル地区の研究を批判し，居住者のライフヒストリーや就労形態に関する詳細な聞き取りを行うことでゲル地区の多様な居住形態を実証的に解明した労作である。ウランバートル・ゲル地区を「スラム」へと解消することで，主流の社会・経済レジームにおけるカテゴリーに矮小化する既存のスラム・スクウォッター研究の視点とは異なり，居住者の現在に至るまでの経緯に着目して，ゲル地区とは何か，またゲル地区に住む住民の多様性に迫ることを目的としている。

ウランバートルにおける労働市場と住宅形態を統計解析によって概観することでゲル地区の特徴を描き出し，さらに居住者のライフヒストリーや就労形態に関する詳細なインタビューによって，ゲル地区居住者の生の声を拾いながら個人の生活戦略を解明する。その研究手法は，決して目新しいとは言えないが，3 か年のべ約 9 ケ月に及ぶ現地調査で得られた一次データは，今後のモンゴル地域研究に大きく貢献する資料として高い価値を有する。ゲル地区の居住者の職業が 2000 年代以降爆発的に拡大するゲル地区の研究は多く，不良住宅として捉えるステレオタイプ的な見方が強いなか，ライフヒストリーやキャリアから，生活の場としてゲル地区を分析し，居住者の生活戦略の多様性を解明した本論文の意義は大きい。本論文の成果は，世帯と個人のキャリアから，住居取得，子供の教育と就労，そして将来設計を分析した点においては労働の地理学とも評価しうる内容であり独創的である。したがって，重要な人文地理学研究およびモンゴル地域研究であるとともに，住宅と労働に関わる都市社会地理学研究のフロンティアを広げることにも貢献している。

本論文は，分析を通じてゲル地区居住者のくらしが従来の認識よりも多様であることを指摘し，インタビューを通じた丹念な実態の解明は海外調査の困難を考慮すれば高く評価されるべきものである。よって，本論文を人文地理学会学会賞（論文部門）の授与にふさわしい論文として推薦する。

【 2021/22年 事業計画】

2021年定時社員総会資料

月	理事会	大会	編集	例会・部会	他学会	前年度
2021年 10月	9：常任理事会⑤ **16：理事会⑥**		***73巻3号発行***		30-31：GIS学会大会(ｵﾝﾗｲﾝ)	10：常任理事会 17：理事会
11月		20-21：大会（ｵﾝﾗｲﾝ）	13：第7回		6-7：東北地理学会大会(ｵﾝﾗｲﾝ)	7：編集委 14：理事会 14-23：大会(ｵﾝﾗｲﾝ)
12月	11：常任理事会① **18：理事会①**		***73巻4号発行***			14：常任理事会 21：理事会
2022年 1月			8：第1回			9：編集委 23：大会準備委
2月						
3月	30：常任理事会②		19：第2回 ***74巻1号発行***		19-20：日本地理学会大会(東京大)	13：編集委 26-28：日本地理学会大会(ｵﾝﾗｲﾝ) 31：常任理事会
4月	9：理事会②					10：理事会
5月			14：第3回		20-22：経済地理学会大会(広島大) 21-22：歴史地理学会大会(滋賀大)	1：常任理事会（臨時） 15：編集委 15-16：東北地理学会大会(ｵﾝﾗｲﾝ) 29-30：経済地理学会大会(ｵﾝﾗｲﾝ) 24-6/1：理事会(臨時)
6月			11：第4回（合評会） ***74巻2号発行***	特別例会［信州大(松本)・日程調整中］		12：編集委 19：地理科学学会大会(ｵﾝﾗｲﾝ) 26：特別例会（ｵﾝﾗｲﾝ）
7月	2：常任理事会③ 9：理事会③ ※1		9：第5回 ※1			3：常任理事会 10：編集委 10：理事会 31-8/1：歴史地理学会大会(ｵﾝﾗｲﾝ)
8月						8：地理科学学会大会(ｵﾝﾗｲﾝ) 21-22：地理教育学会大会(ｵﾝﾗｲﾝ) 23：大会発表申込締切
9月	17：常任理事会④ **24：理事会④**		10：第6回			4：大会準備委 5：経済地理学会大会(ｵﾝﾗｲﾝ) 11：編集委 18-20：日本地理学会大会(ｵﾝﾗｲﾝ) 18：常任理事会 25：理事会
10月	8：常任理事会⑤ **15：理事会⑤**		***74巻3号発行***			10：常任理事会 10-11：東北地理学会大会(ｵﾝﾗｲﾝ) 17：理事会
11月	理事会①(開催日未定)	19-20：大会(佛教大)	12：第7回			13：編集委 20-21：大会（ｵﾝﾗｲﾝ）

※1：理事会と第5回編集委員会日程が重複しているが、時間帯や出席者を調整することで両会議が両立するよう工夫する。

庶務委員会：2021/22年度 会員名簿発行
　　会長候補者予備選挙，理事・監事予備選挙，会長予備選挙，代議員選挙
会計委員会：国際地理オリンピック寄付
企画委員会：2021/22年度 若手研究者国際会議派遣助成
　　第22回 人文地理学会 学会賞選考

一般社団法人人文地理学会　代議員

（任期：2020 年 10 月 1 日～2022 年 9 月 30 日）

淺野　敏久	加藤　政洋	高橋　　誠	藤塚　吉浩
天野　太郎	川口　太郎	高柳　長直	二村　太郎
荒木　一視	川口　　洋	田中　和子	古田　　昇
伊賀　聖屋	川久保　篤志	谷　　謙二	松井　圭介
池　　俊介	河島　一仁	土谷　敏治	松原　　宏
池口　明子	河原　典史	土屋　　純	三木　理史
市川　康夫	桐村　　喬	堤　　研二	水野　真彦
伊藤　　悟	久木元　美琴	寺床　幸雄	南埜　　猛
伊藤　貴啓	呉羽　正昭	土居　晴洋	宮内　久光
稲垣　　陵	河本　大地	友澤　和夫	森　　正人
今里　悟之	古賀　慎二	豊田　哲也	矢野　桂司
岩崎　公弥	小島　泰雄	長尾　謙吉	矢部　直人
岩鼻　通明	後藤　拓也	中川　秀一	山口　　晋
内田　忠賢	駒木　伸比古	中島　弘二	山﨑　孝史
宇根　義己	米家　泰作	中西　僚太郎	山下　清海
大西　宏治	酒川　　茂	中谷　友樹	山近　久美子
小方　　登	佐藤　廉也	仁平　尊明	山村　亜希
岡本　耕平	佐野　静代	根田　克彦	山本　理佳
小田　隆史	島津　俊之	野間　晴雄	由井　義通
小田　宏信	杉浦　真一郎	箸本　健二	湯澤　規子
小田　匡保	須原　洋次	橋本　雄一	吉田　道代
遠城　明雄	関戸　明子	初澤　敏生	若林　芳樹
加賀美　雅弘	外枦保　大介	服部　亜由未	渡辺　理絵
香川　貴志	平　　篤志	林　　上	
香川　雄一	高野　岳彦	藤井　　正	以上 101 名
梶田　　真	高橋　春成	藤田　裕嗣	五十音順

一般社団法人人文地理学会　役員

（任期：2020 年定時社員総会～2022 年定時社員総会）

会長　野間晴雄

常任理事　古賀慎二（庶務）　加藤政洋（会計）　上杉和央（編集）
香川雄一（集会）　藤田裕嗣（企画・広報）

理事　天野太郎　荒木一視　上杉和央　小方　登　岡橋秀典　香川雄一
加藤政洋　河原典史　神田孝治　古賀慎二　田中和子　土屋　純
堤　研二　根田克彦　野間晴雄　藤田裕嗣　二村太郎　松田隆典
水野真彦　南出眞助　若林芳樹

監事　出田和久　片平博文

2021/22 年度 人文地理学会 常任委員

（任期：2021 年定時社員総会～2022 年定時社員総会）

庶務： 古賀慎二* **阿部美香** 河角直美

会計： 加藤政洋* **稲田七海** 本岡拓哉

編集： 上杉和央* 水野真彦（編集副委員長） **今里悟之** 宇根義己 **鎌倉夏来**
桐村 喬 倉光ミナ子 **菅野 拓** 鈴木晃志郎 **橘 セツ** 淡野寧彦
土平 博 **中窪啓介** 服部亜由未 **深見 聡** **前田洋介** **武者忠彦**

集会： 香川雄一* **小原丈明** 波江彰彦 **長谷川奨悟** 山神達也

企画： 藤田裕嗣* **酒井高正** **中澤高志** 秦 洋二

広報： 藤田裕嗣* **上杉昌也** 谷端 郷

（＊は常任理事、下線は留任委員、太字は新任委員、新任委員は次年度原則再任）

一般社団法人人文地理学会　2020/21年度　決算　　2021年9月30日現在

＜収入の部＞

	科目	2020/21年度 予算	2020/21年度 決算	執行率	差額
1	会費	¥11,200,000	¥11,002,900	98.2%	¥-197,100
2	出版物売上	¥1,000,000	¥890,902	89.1%	¥-109,098
3	雑収入	¥150,000	¥297,521	198.3%	¥147,521
4	大会収入（参加費・広告）	¥30,000	¥80,000	266.7%	¥50,000
5	受取利息	¥2,000	¥1,100	55.0%	¥-900
6	未払い費用（選・名）	¥0	¥0	100%	¥0
	計	¥12,382,000	¥12,272,423	99.1%	¥-109,577

＜支出の部＞

	科目	2020/21年度 予算	2020/21年度 決算	執行率	差額
1	雑誌生産費	¥4,000,000	¥3,856,830	96.4%	¥143,170
2	雑誌期首棚卸高		¥1,422,990		
3	雑誌期末棚卸高		-¥883,610		
4	編集費	¥350,000	¥63,639	18.2%	¥286,361
5	雑誌発送費	¥660,000	¥647,978	98.2%	¥12,022
6	集会費	¥200,000	¥90,940	45.5%	¥109,060
7	大会開催費	¥650,000	¥967,195	148.8%	¥-317,195
8	研究部会運営費	¥320,000	¥166,698	52.1%	¥153,302
9	給料手当	¥2,400,000	¥2,724,660	113.5%	¥-324,660
10	保険料	¥350,000	¥465,870	133.1%	¥-115,870
11	旅費・交通費	¥200,000	¥129,000	64.5%	¥71,000
12	通信費	¥350,000	¥359,033	102.6%	¥-9,033
13	顕彰事業費	¥50,000	¥53,828	107.7%	¥-3,828
14	企画・広報事業費	¥40,000	¥0	0.0%	¥40,000
15	会合費	¥60,000	¥21,912	36.5%	¥38,088
16	選挙費	¥0	¥0	#DIV/0!	¥0
17	選挙費積立金	¥100,000	¥100,000	-	¥0
18	諸印刷費	¥35,000	¥22,440	64.1%	¥12,560
19	名簿作成発送費	¥0	¥0	#DIV/0!	¥0
20	名簿作成発送費積立金	¥100,000	¥100,000	-	¥0
21	消耗品費	¥100,000	¥47,263	47.3%	¥52,737
22	機械借上費	¥120,000	¥123,628	103.0%	¥-3,628
23	室料（家賃・光熱費）	¥1,267,000	¥1,233,015	97.3%	¥33,985
24	相談手数料	¥150,000	¥135,241	90.2%	¥14,759
25	寄付金	¥100,000	¥100,000	100.0%	¥0
26	若手研究者国際会議派遣助成	¥500,000	¥17,350	3.5%	¥482,650
27	租税公課	¥70,000	¥73,450	104.9%	¥-3,450
28	諸会費	¥50,000	¥50,000	100.0%	¥0
29	J-stage公開費	¥0	¥0	#DIV/0!	¥0
30	雑費	¥60,000	¥2,475	4.1%	¥57,525
31	予備費	¥100,000	¥0	0.0%	¥100,000
	計	¥12,382,000	¥12,091,825	97.7%	¥290,175

収支差額	¥0	¥180,598		

＜繰越金＞

前期末純資産額	¥32,412,407
今期末純資産額	¥32,593,005

一般社団法人人文地理学会　2021/22年度 予算

＜収入の部＞

	科目	2021/22年度 予算
1	会費	¥11,000,000
2	出版物売上	¥1,000,000
3	雑収入	¥150,000
4	大会収入（参加費・広告）	¥122,000
5	受取利息	¥1,000
6	未払い費用（選・名）	¥200,000
	計	¥12,473,000

＜支出の部＞

	科目	2021/22年度 予算
1	雑誌生産費	¥4,000,000
2	編集費	¥140,000
3	雑誌発送費	¥660,000
4	集会費	¥200,000
5	大会開催費	¥600,000
6	研究部会運営費	¥400,000
7	給料手当	¥2,500,000
8	保険料	¥400,000
9	旅費・交通費	¥200,000
10	通信費	¥400,000
11	顕彰事業費	¥50,000
12	企画・広報事業費	¥20,000
13	会合費	¥40,000
14	選挙費	¥100,000
15	選挙費積立金	¥0
16	諸印刷費	¥35,000
17	名簿作成発送費	¥300,000
18	名簿作成発送費積立金	¥0
19	消耗品費	¥120,000
20	機械借上費	¥100,000
21	室料（家賃・光熱費）	¥1,267,000
22	相談手数料	¥100,000
23	寄付金	¥100,000
24	若手研究者国際会議派遣助成	¥500,000
25	租税公課	¥70,000
26	諸会費	¥50,000
27	雑費	¥30,000
28	予備費	¥91,000
	計	¥12,473,000

収支差額	¥0

2020/21 年 第 4 回理事会(2021.7.10)承認
2020/21 年 会員総会(2021.11.20)提案

庶務委員会

【審議事項】

1. 人文地理学会会則改正（案）

1）第 13 条の監事に関する記載を以下のように修正する（下線部を付加する）。

改正理由：現会則を厳密に適用すると、監事を通算 2 期務めた者は理事になれないことから、会長（代表理事）に就任できないということになるため。

当改正については、2019 年 12 月の理事会で議論され、条文の解釈として、監事 2 期務めた会員も会長に就任可能であることが確認されている。

2）2014 年 10 月 1 日に施行された人文地理学会会則では、第 26 条と第 27 条が欠落しており、現第 28 条は第 26 条へ、第 29 条は第 27 条へ、そして第 30 条は第 28 条へ条文番号を繰り上げる。

改正理由：条文通し番号のつけ間違いであるため。

なお、これらの改正については、2021 年 7 月 10 日に開催された 2020/21 年度第 4 回理事会で承認されている。ただし、会則改正にあたっては、現行の第 30 条（新第 28 条）において会員総会の承認を求めることになっているため、ここに提案する。

改正案	現行
人文地理学会会則 2014 年 10 月 1 日施行 2021 年 11 月 20 日一部改正 第 13 条　会長を通算 2 期務めた者は、再度、役員になることはできない。監事を通算 2 期務めた者は、会長（代表理事）となる場合を除き、再度、理事あるいは監事になることはできない。	人文地理学会会則 2014 年 10 月 1 日施行 第 13 条　会長を通算 2 期務めた者は、再度、役員になることはできない。監事を通算 2 期務めた者は、再度、理事あるいは監事になることはできない。

第 7 章　　会計 第 26 条　本会の経営は会費、寄付金、および出版物売上その他の収入をもってこれに充てる。 第 27 条　毎年度の予算および決算は、理事会の議を経て会員総会に報告し、承認を求めるものとする。	**第 7 章　　会計** 第 28 条　本会の経営は会費、寄付金、および出版物売上その他の収入をもってこれに充てる。 第 29 条　毎年度の予算および決算は、理事会の議を経て会員総会に報告し、承認を求めるものとする。
第 8 章　　会則の改正 第 28 条　本会則の改正は会員総会の承認を求めるものとする。ただし一般社団法人人文地理学会定款と齟齬する会則を定めることはできない。	**第 8 章　　会則の改正** 第 30 条　本会則の改正は会員総会の承認を求めるものとする。ただし一般社団法人人文地理学会定款と齟齬する会則を定めることはできない。

（以　上）

一般社団法人人文地理学会　2020/21年度　決算　　2021年9月30日現在

＜収入の部＞

	科目	2020/21年度 予算	2020/21年度 決算	執行率	差額
1	会費	¥11,200,000	¥11,002,900	98.2%	¥-197,100
2	出版物売上	¥1,000,000	¥890,902	89.1%	¥-109,098
3	雑収入	¥150,000	¥297,521	198.3%	¥147,521
4	大会収入（参加費・広告）	¥30,000	¥80,000	266.7%	¥50,000
5	受取利息	¥2,000	¥1,100	55.0%	¥-900
6	未払い費用（選・名）	¥0	¥0	100%	¥0
	計	¥12,382,000	¥12,272,423	99.1%	¥-109,577

＜支出の部＞

	科目	2020/21年度 予算	2020/21年度 決算	執行率	差額
1	雑誌生産費	¥4,000,000	¥3,856,830	96.4%	¥143,170
2	雑誌期首棚卸高		¥1,422,990		
3	雑誌期末棚卸高		-¥883,610		
4	編集費	¥350,000	¥63,639	18.2%	¥286,361
5	雑誌発送費	¥660,000	¥647,978	98.2%	¥12,022
6	集会費	¥200,000	¥90,940	45.5%	¥109,060
7	大会開催費	¥650,000	¥967,195	148.8%	¥-317,195
8	研究部会運営費	¥320,000	¥166,698	52.1%	¥153,302
9	給料手当	¥2,400,000	¥2,724,660	113.5%	¥-324,660
10	保険料	¥350,000	¥465,870	133.1%	¥-115,870
11	旅費・交通費	¥200,000	¥129,000	64.5%	¥71,000
12	通信費	¥350,000	¥359,033	102.6%	¥-9,033
13	顕彰事業費	¥50,000	¥53,828	107.7%	¥-3,828
14	企画・広報事業費	¥40,000	¥0	0.0%	¥40,000
15	会合費	¥60,000	¥21,912	36.5%	¥38,088
16	選挙費	¥0	¥0	#DIV/0!	¥0
17	選挙費積立金	¥100,000	¥100,000	-	¥0
18	諸印刷費	¥35,000	¥22,440	64.1%	¥12,560
19	名簿作成発送費	¥0	¥0	#DIV/0!	¥0
20	名簿作成発送費積立金	¥100,000	¥100,000	-	¥0
21	消耗品費	¥100,000	¥47,263	47.3%	¥52,737
22	機械借上費	¥120,000	¥123,628	103.0%	¥-3,628
23	室料（家賃・光熱費）	¥1,267,000	¥1,233,015	97.3%	¥33,985
24	相談手数料	¥150,000	¥135,241	90.2%	¥14,759
25	寄付金	¥100,000	¥100,000	100.0%	¥0
26	若手研究者国際会議派遣助成	¥500,000	¥17,350	3.5%	¥482,650
27	租税公課	¥70,000	¥73,450	104.9%	¥-3,450
28	諸会費	¥50,000	¥50,000	100.0%	¥0
29	J-stage公開費	¥0	¥0	#DIV/0!	¥0
30	雑費	¥60,000	¥2,475	4.1%	¥57,525
31	予備費	¥100,000	¥0	0.0%	¥100,000
	計	¥12,382,000	¥12,091,825	97.7%	¥290,175

収支差額	¥0	¥180,598		

＜繰越金＞

前期末純資産額	¥32,412,407
今期末純資産額	¥32,593,005

一般社団法人人文地理学会　2021/22年度 予算

＜収入の部＞

	科目	2021/22年度 予算
1	会費	¥11,000,000
2	出版物売上	¥1,000,000
3	雑収入	¥150,000
4	大会収入（参加費・広告）	¥122,000
5	受取利息	¥1,000
6	未払い費用（選・名）	¥200,000
	計	¥12,473,000

＜支出の部＞

	科目	2021/22年度 予算
1	雑誌生産費	¥4,000,000
2	編集費	¥140,000
3	雑誌発送費	¥660,000
4	集会費	¥200,000
5	大会開催費	¥600,000
6	研究部会運営費	¥400,000
7	給料手当	¥2,500,000
8	保険料	¥400,000
9	旅費・交通費	¥200,000
10	通信費	¥400,000
11	顕彰事業費	¥50,000
12	企画・広報事業費	¥20,000
13	会合費	¥40,000
14	選挙費	¥100,000
15	選挙費積立金	¥0
16	諸印刷費	¥35,000
17	名簿作成発送費	¥300,000
18	名簿作成発送費積立金	¥0
19	消耗品費	¥120,000
20	機械借上費	¥100,000
21	室料（家賃・光熱費）	¥1,267,000
22	相談手数料	¥100,000
23	寄付金	¥100,000
24	若手研究者国際会議派遣助成	¥500,000
25	租税公課	¥70,000
26	諸会費	¥50,000
27	雑費	¥30,000
28	予備費	¥91,000
	計	¥12,473,000

収支差額	¥0

（財務諸表）

貸　借　対　照　表

一般社団法人人文地理学会

2020年度　2020年10月 1日 ～ 2021年 9月30日

単位：円

勘定科目		繰越残高	借方金額	貸方金額	残　　高	構成比
資産の部						
【流動資産】		31,035,117	22,957,684	22,508,906	31,483,895	95.7
（当座資産）		29,446,631	21,471,324	21,009,416	29,908,539	91.0
現金	1000	35,822	3,858,599	3,876,719	17,702	0.1
振替貯金	1010	2,911,289	10,108,482	10,642,925	2,376,846	7.2
普通預金	1020	8,002,947	2,404,820	6,332,014	4,075,753	12.4
通常貯金	1030	1,153,851	1,098,374	157,758	2,094,467	6.4
定期預金（みずほ）	1040	12,342,722	4,001,049	0	16,343,771	49.7
定額貯金(ゆうちょ)	1045	5,000,000	0	0	5,000,000	15.2
（棚卸資産）		1,422,990	883,610	1,422,990	883,610	2.7
会誌	1100	1,422,990	883,610	1,422,990	883,610	2.7
（その他の流動資産）		165,496	602,750	76,500	691,746	2.1
仮払金	1391	76,500	602,750	76,500	602,750	1.8
未収入金	1392	88,996	0	0	88,996	0.3
【固定資産】		1,400,000	0	0	1,400,000	4.3
（投資その他の資産）		1,400,000	0	0	1,400,000	4.3
保証金	1461	1,400,000	0	0	1,400,000	4.3
資産合計		32,435,117	22,957,684	22,508,906	32,883,895	100.0
負債の部						
【流動負債】		22,710	147,960	416,140	290,890	0.9
預り金	1700	22,710	147,960	162,140	36,890	0.1
前受金	1706	0	0	54,000	54,000	0.2
選挙費積立金	1710	0	0	100,000	100,000	0.3
名簿作成発送費積立金	1720	0	0	100,000	100,000	0.3
【固定負債】		0	0	0	0	0.0
負債合計		22,710	147,960	416,140	290,890	0.9
純資産の部						
【資本金】		0	0	0	0	0.0
【利益剰余金】		32,412,407	0	180,598	32,593,005	99.1
（繰越利益剰余金）		32,412,407	0	180,598	32,593,005	99.1
繰越利益剰余金	1959	32,412,407	0	0	32,412,407	98.6
当期純利益	1969	0	0	180,598	180,598	0.5
純資産合計		32,412,407	0	180,598	32,593,005	99.1
負債純資産合計		32,435,117	147,960	596,738	32,883,895	100.0

処理日付：2021年10月 6日

（財務諸表）

損　益　計　算　書

一般社団法人人文地理学会

2020年度　2020年10月 1日 ～ 2021年 9月30日

単位：円

勘定科目		繰越残高	借方金額	貸方金額	残　　高	構成比
【売上高】		0	5,000	11,978,802	11,973,802	100.0
会費	2000	0	5,000	11,007,900	11,002,900	91.9
出版物売上	2001	0	0	890,902	890,902	7.4
大会収入	2003	0	0	80,000	80,000	0.7
【売上原価】		0	1,422,990	883,610	539,380	4.5
期首商品棚卸高	2280	0	1,422,990	0	1,422,990	11.9
期末商品棚卸高	2281	0	0	883,610	-883,610	-7.4
売上総利益		0	0	11,434,422	11,434,422	95.5
【販売費及び一般管理費】		0	12,319,536	767,091	11,552,445	96.5
雑誌生産費	2310	0	4,019,730	162,900	3,856,830	32.2
編集費	2320	0	63,639	0	63,639	0.5
雑誌発送費	2330	0	647,978	0	647,978	5.4
集会費	2340	0	90,940	0	90,940	0.8
大会開催費	2350	0	967,195	0	967,195	8.1
研究部会運営費	2360	0	320,000	153,302	166,698	1.4
給料手当	2370	0	2,724,660	0	2,724,660	22.8
保険料	2380	0	908,219	442,349	465,870	3.9
旅費・交通費	2400	0	129,000	0	129,000	1.1
通信費	2410	0	359,213	180	359,033	3.0
顕彰事業費	2430	0	53,828	0	53,828	0.4
会合費	2450	0	21,912	0	21,912	0.2
選挙費積立金繰入	2461	0	100,000	0	100,000	0.8
諸印刷費	2470	0	22,440	0	22,440	0.2
名簿作成発送費積立金繰入	2481	0	100,000	0	100,000	0.8
消耗品費	2510	0	47,263	0	47,263	0.4
機械借上費	2520	0	123,628	0	123,628	1.0
室料（家賃）	2530	0	1,241,375	8,360	1,233,015	10.3
雑費	2540	0	2,475	0	2,475	0.0
IGU補助金	2570	0	17,350	0	17,350	0.1
寄付金	2590	0	100,000	0	100,000	0.8
相談手数料	2591	0	135,241	0	135,241	1.1
租税公課	2593	0	73,450	0	73,450	0.6
諸会費	2594	0	50,000	0	50,000	0.4
営業利益		0	0	-118,023	-118,023	-1.0
【営業外収益】		0	0	298,621	298,621	2.5
受取利息	2600	0	0	1,100	1,100	0.0
雑収入	2640	0	0	297,521	297,521	2.5
経常利益		0	0	180,598	180,598	1.5
税引前当期純利益		0	0	180,598	180,598	1.5
当期純利益		0	0	180,598	180,598	1.5

処理日付：2021年10月 6日

決　算　報　告　書

第 7 期

自 2020年10月 1日

至 2021年 9月30日

一般社団法人人文地理学会

京都市左京区吉田河原町14番地
近畿地方発明センター合同ビル内

貸 借 対 照 表

2021年 9月 30日　現在

一般社団法人人文地理学会　（単位：円）

資産の部		負債・純資産の部	
科目	金額	科目	金額
【流動資産】		【流動負債】	
現金及び預金	29,908,539	預り金	36,890
会誌	883,610	前受金	54,000
仮払金	602,750	選挙費　積立金	100,000
未収入金	88,996	名簿作成発送費積立金	100,000
流動資産合計	31,483,895	流動負債合計	290,890
		負債の部合計	290,890
【固定資産】		純資産の部	
投資その他の資産			
保証金	1,400,000	基金	0
その他固定資産合計	1,400,000	剰余金	32,593,005
固定資産合計	1,400,000	純資産の部合計	32,593,005
資産合計	32,883,895	負債及び純資産合計	32,883,895

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

①計算書類の作成基準

一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して作成している。

②資産の評価基準及び評価方法

(1)棚卸資産の評価基準及び評価方法

会誌：最終仕入原価法による原価法

損　益　計　算　書

自2020年10月1日　　至2021年9月30日

一般社団法人人文地理学会　　（単位：円）

科　目	金額	
（経常損益の部）		
【経常収益】		
受　取　会　費	11,002,900	
事　業　収　入	890,902	
受 取 負 担 金	80,000	
財　務　収　益	1,100	
その他　収　益	297,521	
経常収益計		12,272,423
【経常費用】		
(事業費)		
期首会誌棚卸額	1,422,990	
会 誌 生 産 費	3,856,830	
期末会誌棚卸額	▲ 883,610	
大 会 開 催 費	967,195	
顕 彰 事 業 費	53,828	
若手研究者国際会議派遣助成事業費	17,350	
事業費計		5,434,583
(管理費)		
給　料　手　当	2,724,660	
保　　険　　料	465,870	
集　　会　　費	90,940	
編　　集　　費	63,639	
研究部会運営費	166,698	
旅 費 交 通 費	129,000	
通　　信　　費	359,033	
雑 誌 発 送 費	647,978	
企画・広報事業費	0	
会　　合　　費	21,912	
選挙費積立金繰入	100,000	
諸　印　刷　費	22,440	
名簿作成発送費積立金繰入	100,000	
備　　品　　費	0	
消　耗　品　費	47,263	
賃　　借　　料	123,628	
地　代　家　賃	1,233,015	
租　税　公　課	73,450	
相 談 手 数 料	135,241	
寄　　付　　金	100,000	
諸　　会　　費	50,000	
J-stage 公開費	0	
雑　　費	2,475	
管理費計		6,657,242
経常費用計		12,091,825
経常利益		180,598
（経常外損益の部）		
【経常外収益】		
選挙費積立金取崩額	0	
名簿作成発送費積立金取崩額	0	
経常外収益計		0
当期純利益		180,598

附　属　明　細　書

2021年 9月30日　現在

一般社団法人人文地理学会

1.　引当金の明細　（単位：円）

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高
選挙費積立金	0	100,000	0	100,000
名簿作成発送費積立金	0	100,000	0	100,000

2021年10月9日

監　査　報　告

一般社団法人 人文地理学会

監事　出口　和生

監事　片平博文

2020/21年度の事業報告、計算書類、これらの附属明細書、その他理事の職務執行の監査について、次のとおり報告します。

1　監査の方法及びその内容

監事間の協議により、監査方針を定めた上で、庶務委員会、会計委員会の分野を中心に調査を行い、その結果を監事間で協議して、監査を実施しました。

具体的には、理事会その他の重要な会議に出席し、会計帳簿、会計書類、重要な決裁文書及び報告書を閲覧し、当法人の理事等から、職務の執行状況等について定期的に報告を受け、また、随時説明を求めました。

2　監査の結果

(1) 事業報告及びその附属明細書は法令及び定款に従い当法人の状況を正しく表示しています。

(2) 理事の職務の遂行に関し、不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。

(3) 当法人の業務の適正を確保するために必要な体制の整備等についての理事会の決議の内容は相当です。

(4) 計算書類とその附属明細書は当法人の財産及び損益の状況を全ての重要な点において適正に表示しています。

以上